

### 「耐え忍ぶということについて」

早くも2月に入りました。暦の上では、一番寒いと言われる「大寒」を過ぎましたが、なお寒い日が続きます。この時期も皆さんの日々のご健康が支えられ、健康の弱さの中にある方々の上には、神様からの平安がありますようにと祈ります。



厳しい冬を過ごし、またその冬や寒さに耐え忍ぶということは四季のあるこの日本において多くの人たちが経験することです。いわゆる雪国と呼ばれる地方や気温が極端に下がる地域に住む方々は、大変なご苦勞をなさっていますし、誰も冬に限らずいろいろなことを「耐え忍ぶ」というのを実際の日常生活の中で身につけていきます。

季節と花の関係を考えてみますと、右上の写真のように「忍冬」(スイカズラ・ニンドウ)という花があります(写真はインターネット photoACの無料会員登録より)。「忍冬」というタイトルで何人かの人それぞれ違った歌を歌ったりしていることもあって、名前を聞いたことがありました。その花について調べますと、名前の由来は「花に甘い蜜があり、蜜を吸う、つる植物だから「吸い葛」だと言われています。」と書かれています。私の出身地である館林市の市花は「山つつじ」ですが、小学生の頃、学校のすぐ裏には裏山があり、時々つつじの花の蜜を吸いながら帰ったこともありました。忍冬の花は白から黄色になり、香りのある花のようです。「冬を忍ぶ」と書くので、冬に耐え忍ぶ花かと思いましたが、春に咲く花のようです。寒い冬でも葉っぱは落ちることがなく、葉を丸めて冬を乗り越えようとする姿はまさに冬を忍ぶようです。私たちの人生においても「耐え忍ぶこと」や「忍耐する」ということは誰にでもあることです。

聖書には耐え忍ぶことや忍耐、またそれに関連することについて書かれています。

ローマ5章3-4節 **それだけではなく、苦難さをも喜んでいきます。それは、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。**

ヘブル10章36節 **あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。**

ヤコブ1章3-4節 **あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した完全な者となります。**

ヤコブ1章12節 **試練に耐える人は幸いです。耐え抜いた人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けられるからです。**

ヤコブ5章8節 **あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。**

上記の5つの聖書箇所だけでなくほかにもあります。それぞれの聖書のことばの前後関係(文脈)を把握することも大切ですが、ここではその説明は省略します。共通していることはそれぞれのことばがキリスト者(クリスチャン)に向かって書かれたものですから、信仰を持っていれば決して試練や苦難に会わないということではなく、試練や苦難に会い、どう向き合うか、またどのような約束が聖書に書かれているかを確認することができるのです。しかも、聖書が言う「忍耐」というのは、「来るべき希望をもって忍耐すること」であり、再び来られるという(再臨の)約束をしてくださった主イエス・キリストに会うことのできる希望です。そしてもう一つ大切な約束が聖書に書かれています。

第一コリント10章13節 **あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。**

さらにはもう一つの側面として、神様ご自身が人間に対して忍耐深いお方であるということです。ペテロはその手紙の中で、「主は、ある人たちが遅れていると思っただけで、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」(第二ペテロ3章9節)とあるように、神様が忍耐の神であり、すべての人たちが神様に立ち返り、方向転換することを願っておられるということです。皆さんは神の忍耐について、また私たちの忍耐、耐え忍ぶということについてどう思われるでしょうか。この時期、このことについても深く思い巡らすことができますようにお祈りいたします。